

府民の命と暮らしを第一に！

教育予算の充実で 学校教育の危機突破！

教員の長時間労働と人手不足の悪循環、不登校の急増、施設整備の遅れ、学校統廃合の進行など、学校教育は危機的状況にあります。少子化の今こそ、教育予算の抜本的な拡充が必要です。

京都府政
CHANGE!

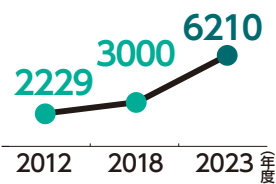
無償でおいしい学校給食を

府内でも一部市町村で学校給食の無償化が進んでいます。青森や和歌山など県単位の無償化も始まっていますが、京都府は、「給食費は保護者負担」と無償化に背を向けています。

追いつかない 不登校支援

京都府では、不登校の子どもが10年間で約2.7倍に増えていますが、府のフリースクール運営費補助は6施設で、計300万円のまま。多くの自治体が始めている利用料や通学費の支援も京都府は行っていません。また、子どもの声を受け止められる学校にするために、教員の長時間労働の解消と増員が必要です。

京都の不登校児童・生徒数(小中学校)推移

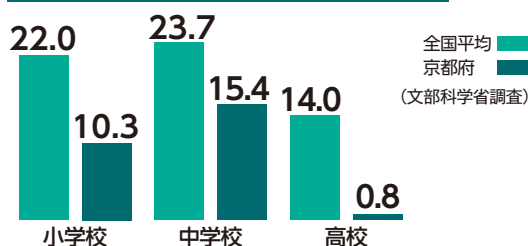


文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

急がれる 学校の施設整備

学校体育館へのエアコン設置が遅れています。避難所利用のためにも早急な対応が必要です。トイレの洋式化も急がれます。また、地域で子育てできなくなる府立高校の統廃合はやめるべきです。さらに、特別支援学校に通う子どもの増加に応じた施設整備と学校増設が必要です。

体育館のエアコン設置状況(%)



※文部科学省「公立学校の体育館等の空調(冷房)設備設置状況について」より。高校のみ令和6年9月1日現在、他は令和7年5月1日現在。

2026春
府知事選



先生と子どもの命と権利を守る府政を

- ▶ 府独自に30人以下学級の導入、教員の増員を
- ▶ フリースクール支援の拡充
- ▶ 小中学校の給食無償化支援
- ▶ 学校体育館にエアコン設置
- ▶ 府立高校の統廃合ストップ



日本共産党府議会報告

日本共産党京都府議員団は、上記の見解を発表しました。
2025年10月



HP



YouTube



LINE

日本共産党 京都府会議員団 議会報告

発行：日本共産党京都府議員団 〒602-8041 京都市上京区下立売通新町西入 京都府議会内
TEL：075-414-5566 FAX：075-431-2916

府民の命とくらしを第一に！

京都のお米が 食べられなくなる？

異常気象による高温と渇水で、京都府北部を中心に深刻な被害が出ています。日本共産党府会議員団は丹後地域、中丹地域の農家の現状をお聞きし、国への緊急要望も行いました。

京都府政
CHANGE!

危機をもたらした 自民党農政

コメ危機の原因は、自民党政権が生産・供給の安定に責任を果たさず、農家に減反を押しつけてきたからです。さらに、トランプ大統領の一方的な関税引き上げと、米国からのコメと農産物の輸入拡大が強引に進められようとしています。



京都府でも 災害級の水枯れ

乾いた田んぼに
大きなひび割れ

9月議会で議員団は、今夏の異常な猛暑と渇水は災害級で、今の農業共済や収入保険では対応できないと指摘。制度の改善だけでなく、特別な緊急対策を行い、来年の作付けを守る必要があると訴えました。



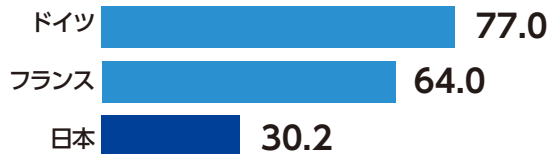
進まない 農家の 所得支援

コメ農家は「時給10円」とも言われ、生産農家の減少に歯止めがかからず、京都府の基幹的農業従事者は、2010年からの10年で65%に減少。府知事は議会答弁で「経営力の強化」を強調したものの、価格保障や所得補償には消極的です。



農業所得に占める直接支払いの割合

国土や地域の保全など多面的機能を果たしている農家への所得支援は世界では当たり前です。



農水産省委託調査「主要国の直接支払制度」(18年3月)、平澤明彦報告
日本は鈴木直弘「日本の食と農が危ない」(21年1月)から。いずれも2016年。

2026春
府知事選



京都の農業と 生産者を守る 府政を！

- ▶ コメの増産と安定供給へ転換を
- ▶ コメと農業資材の価格高騰対策を
- ▶ 農家への価格保障、所得補償の充実を

日本共産党 京都府会議員団 議会報告

